

科目分類	専門分野	学 年	1 年	担当教員の氏名・職名
授 業 科 目 名	看護の基本技術 I (安全・安楽)	学 期	前 期	峯尾 まゆみ (看護教員)
		単 位 数	1	
		時 間 数	16	
目的 (ねらい)	医療従事者は、苦痛や不安を抱えた患者に対し、安全な治療・看護を提供する責任がある。看護技術の根底となる安全・安楽に関する知識や技術について習得する。			
目 標	1. 安全・安楽の意義を理解する。 2. 安全・安楽を阻害する要因を理解する。 3. 安全・安楽を確保するための具体的な方法を身につける。			
授 業 計 画	担当教員：峯尾 まゆみ			
	1. 安全・安楽			
	回数	単元項目	内 容	授業形態
	1	感染と感染予防策の 基礎知識	1. 感染の定義と成立過程 2. 感染の経路 3. スタンダードプリコーション (標準予防策) 4. 感染経路別対策 5. 医療廃棄物の取り扱い方法	講義/個人ワーク
	2 3	感染予防対策	カウンターパート・セッション ①衛生的手洗い (スクラブ法、ラビング法) ②防護用具 (エプロン、手袋、マスク) ③無菌操作 (綿球、鑷子) ④滅菌手袋、非滅菌不織布ガウン	講義/GW
	4	衛生的手洗いの方法	ジグソー・セッション ①衛生的手洗い (スクラブ法、ラビング法) 手洗いチェッカー	演習
	5	個人防護服、	ジグソー・セッション ②防護用具	演習
	6	滅菌物の取扱い	ジグソー・セッション ③無菌操作 (綿球、鑷子の取扱い)	演習
	7	滅菌手袋の取扱い	ジグソー・セッション ④滅菌手袋、非滅菌不織布ガウン	演習
8	看護と安全安楽	看護における安全 医療安全、医療事故について 看護における安楽	講義	
教科書	(安全・安楽) 新体系 看護学全書 基礎看護学② 基礎看護技術 I (メヂカルフレンド社) 看護技術プラクティス第 4 版 (学研メディカル秀潤社)			
参考文献	看護技術が見える① 臨床看護技術 (MEDIC MEDIA) 看護技術が見える② 臨床看護技術 (MEDIC MEDIA)			
評価方法	定期試験、課題の提出状況・内容、授業中の態度を総合的に評価する。 100 点満点での結果を最終評価とする。			
関連科目	解剖生理学 I、II、成人看護学総論 微生物学 各看護学			
自己学習に関する指針	医療や看護のプロセスで、生命の安全が脅かされるようなことがあってはなりません。医療現場では安全性を考え、医療事故防止対策が大切です。また、患者さんの安楽性については、患者さん個々の生活習慣や生活様式とも深く関わっています。 単に知識を得ることだけでなく、授業の復習をし、分からないことはその都度調べる。			
その他の 通知事項	進行は理解の状況により変更することがあります。			